

番号	51	名称	雉子橋
指定日	平成 19 年 3 月 28 日	所在地	一ツ橋二丁目～九段南一丁目（日本橋川）
設計者		竣工	大正 15 年（1926）



歴史・文化的特徴

震災復興橋梁として現在の位置に架けられた。それ以前はやや上流側に架けられていた。現在も旧橋台の跡を日本橋川右岸の護岸に見ることができる。

意匠・構造の特徴

鋼製のシンプルなアーチ橋である。

親柱は石造風の重厚感あるデザインであり、手すりは簡素なデザインである。

橋桁の側面の色は緑色。

周辺景観との関係

橋上からは特徴的な親柱が目に入る。また護岸の古い石積みが目に入る。

雉子橋周辺は高架が交錯している地点であり、首都高速道路の高架が空を覆い、眺望はあまり良くない。

周辺道路などから橋梁全体を見ることができるが、首都高速道路の高架が圧迫感を感じる。水面からは印象的なアーチを見ることができるが、首都高速道路の高架橋柱が視界を遮っている。首都高速道路の竹橋ジャンクションがあり高架が交錯している。